

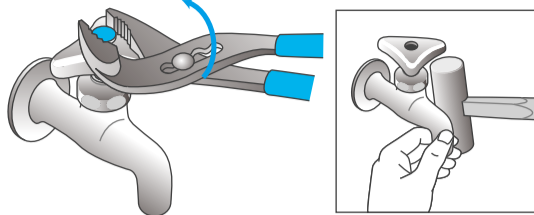
家のお手入れ



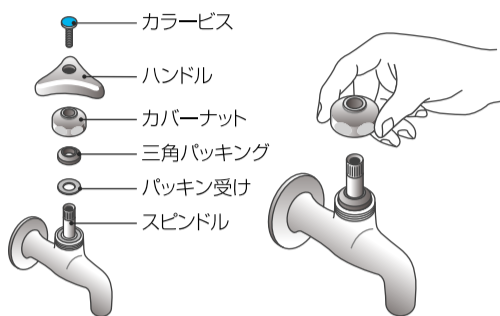
ハンドルの下から水がもれる ⇒三角パッキンを交換する

※三角パッキンを交換する場合は止水栓を閉じる必要はありません。

1 カラービスを右方向に回してははずし、ハンドルを上へ抜く。ハンドルが抜けない場合は、木ヅチで下から軽く叩くと抜けやすくなる。



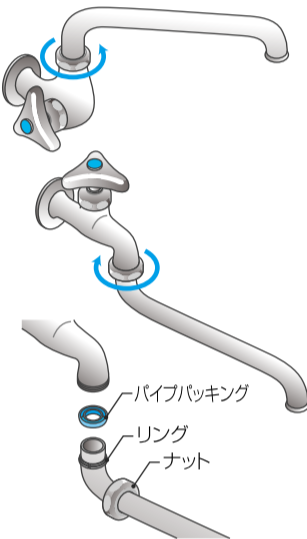
2 コマパッキンの交換と同様にカバーナットをはずしてから、カバーナットを上へ抜き、三角パッキンとパッキン受けを新しいものに交換する（三角パッキンはカバーナットの中に入っていることもある）。交換後は、はずしたのと逆の要領でもとに戻す。



自在水栓のパイプの付け根から水がもれる ⇒パイプパッキンを交換する

1 パイプナットを矢印の方向に回してははずしたから、パイプナットを引き抜く。このときパイプリングもパイプについて出てくる。パイプナットはパイプに通したままにしておく。

2 パイプパッキンと、パイプについているパイプリングをはずして、新しいものと交換する。このとき、パッキンは溝のある方が蛇口本体に向くように差し込むこと。その後、パイプを差し込んでナットを締めれば完了。強く締めすぎるとパイプが動かしにくくなるので注意。



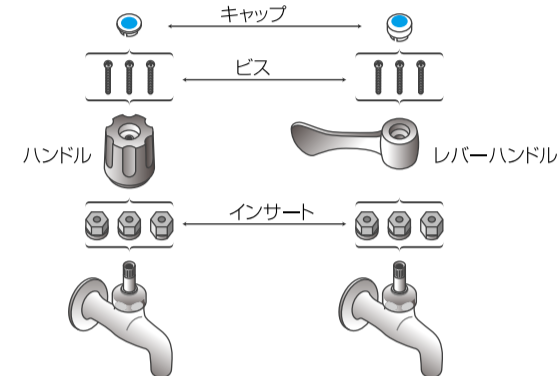
水道蛇口の水もれを直す

One Point Advice

三角ハンドルをおしゃれなハンドルに交換する

三角パッキンを交換するついでに、三角ハンドルをおしゃれかつ機能的なハンドルに交換してみませんか。取り付け方はとても簡単。カラービスとハンドルをはずした状態にして、新しいハンドルに付属している3つのインサートのうち合うサイズのものを選んでから、新しいハンドルをはめ込んでください。その後、ハンドルをビスでとめるのですが、ビスも3種類入っているので、合うものを選んで使ってください。そのあと、カラーキャップをはめ込めば完了です。

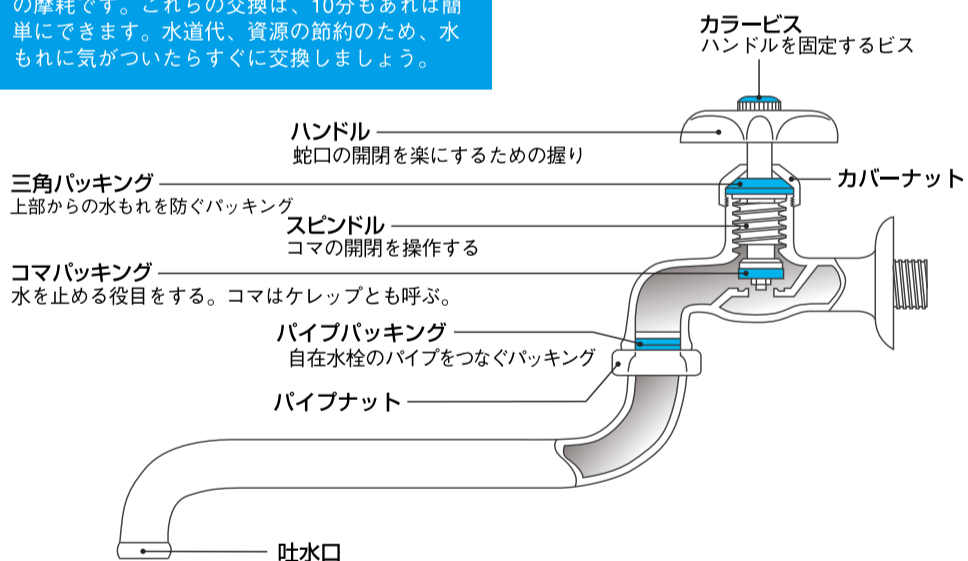
プラスチックハンドルの場合 レバーハンドルの場合



水道蛇口の水もれを直す

水道の水もれの原因のほとんどは、パッキン類の摩耗です。これらの交換は、10分もあれば簡単にできます。水道代、資源の節約のため、水もれに気がいたらすぐに交換しましょう。

水道蛇口の構造と名称



水もれ修理に便利な道具

修理はウォーターポンププライヤーやカランプライヤーを使うのが一般的ですが、モンキーレンチやコンビネーションプライヤーを使って行うこともできます。また、水道修理に必要な工具とパッキンなどがセットになっている経済的なセットも市販されています。

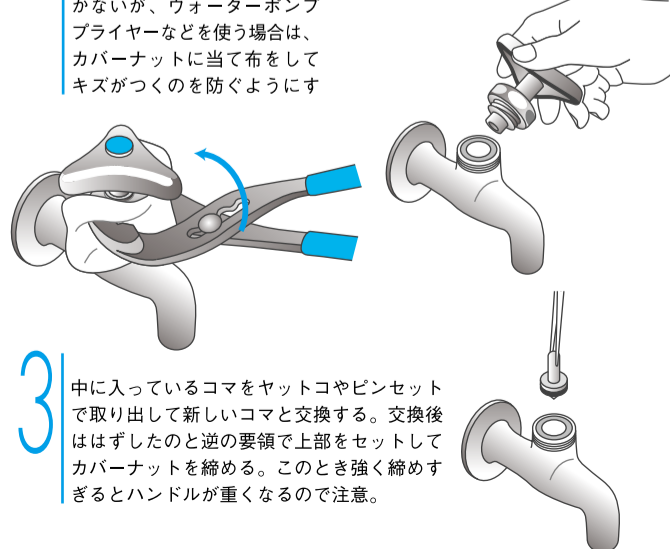


水もれの修理法

吐水口からポタポタもれる⇒コマパッキンを交換する

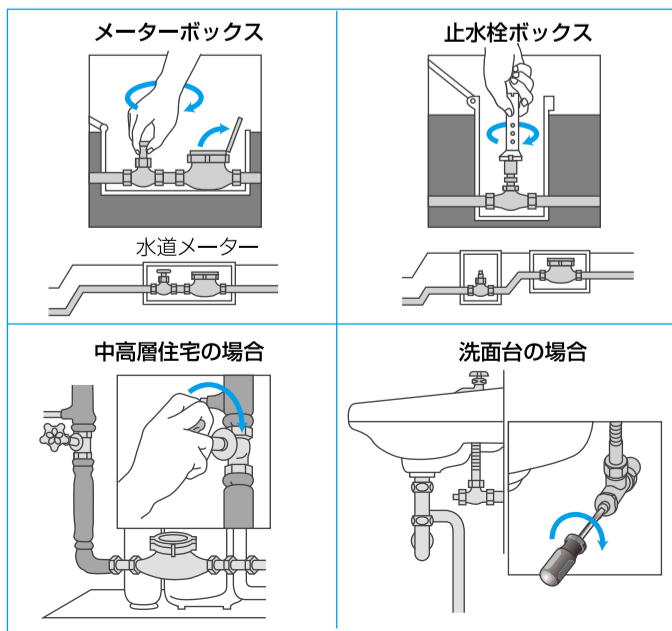
1 カバーナットを矢印の方向に回してははずし、このとき水道修理セットを使えばキズはつかないが、ウォーターポンププライヤーなどを使う場合は、カバーナットに当て布をしてキズがつくのを防ぐようにす

2 カバーナットがはずれたら、ハンドルを左に回して緩め、ハンドル上部をはずす。



修理を始める前に

止水栓を閉じる



コマの種類

一般家庭の蛇口サイズは、ほとんど13なので、コマも13用(15mm)を使用する。コマは互換性があるため、どのタイプのものでも使用できる。

コマ本体にナットでパッキンが固定されているタイプ。ナットをはずしてパッキンだけ交換することもできる。

コマとパッキンが一体型になっている使い捨てタイプ。

節水コマ。これを使うとハンドルを少し開いた状態のとき、普通のコマの半分しか水が流れないので節水になる。ハンドルを全開にすれば、普通と同じ量の水が流れる。

